

第3回横幹連合総合シンポジウム開催報告

田村 義保*

第3回横幹連合総合シンポジウムを、2010年9月5日、6日に早稲田大学早稲田キャンパスで開催した。2007年の横幹連合京都コンファレンスでは、「コトづくりによるイノベーションの推進」を求めた京都宣言が採択されている。2008年の第2回総合シンポジウム、2009年の横幹連合仙台コンファレンスは、この京都宣言の精神を継承して開催されている。

第3回横幹連合総合シンポジウムでも、この精神を継承し、『横幹技術の役割の新局面』という主テーマの下、9月6日には「横幹人材養成」、「サービス科学」、「パーティクルフィルタ」、「知の統合」、「経営高度化」、「行動経済学」、「リアルオプション」などのテーマでセッションを構成した。9月6日から8日は統計関連学会連合の大会も同会場で開催されており、横幹総合シンポジウムの参加者は統計関連学会企画のセッションにも自由に参加できるようにし、研究者間の交流の促進を目指した。

9月5日には「科学技術・イノベーション政策のあるべき姿」というテーマで日本を代表する有識者によるパネル討論を開催した。(Fig. 1) このパネルセッションは、社団法人日本工学アカデミー、横断型基幹科学技術推進協議会との共催、独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センター及び統計数理研究所の後援の形をとった。

パネル討論（パネリスト：吉川弘之（JST 研究開発戦略センター センター長）、中鉢良治（ソニー株式会社 副会長）、安西祐一郎（慶應義塾 学事顧問 慶應義塾大学 教授）、黒田玲子（東京大学 教授 国際科学会議 副会長）、司会：有本建男（JST 社会技術研究開発センター センター長））は日本を代表する有識者（敬称略）により構成させていただいた。概要『我が国の科学技術・イノベーション政策は、第4期科学技術基本計画の策定や新成長戦略を含め、極めて重要な政策課題となっている。科学技術を如何にイノベーション政策に結合し、新たな社会価値の実現を図るべきか、政策実現の方法、産学官の一体となった推進や連携方法、推進する人材教育や育成方法等国際的な観点を踏まえて各界の代表的な有識者が「あるべき姿」を会場の参加者を交えて討議する。』で、約3時間の予定で開催したが、休日にも関わらず、200人近い参加者があった。フロアーからの質問も多く、



Fig. 1: パネル討論（井深大記念ホール）

成功裏に終えることができた。パネル討論の内容については、JST から、2011 年中に出版される。

9月6日の企画セッションのテーマとオーガナイザは次の通りであった。

- テーマ A-1 「横幹人材養成」（統計関連学会連合との共催）（オーガナイザ：本多 敏（慶應義塾大学）、渡辺 美智子（東洋大学））
- テーマ B 「サービス科学」（オーガナイザ：岡田 幸彦（筑波大学）、内藤 耕（産業技術総合研究所）、樋口 知之（統計数理研究所））
- テーマ C 「パーティクルフィルタ」（オーガナイザ：生駒 哲一（九州工業大学））
- テーマ D 「知の統合：制御システムにおけるモデルベース設計・開発」（オーガナイザ：中野 和司（電気通信大学））
- テーマ E 「行動経済学のフロンティア」（オーガナイザ：大垣 昌夫（慶應義塾大学）、加藤 英明（名古屋大学））
- テーマ F 「経営高度化の最前線」（オーガナイザ：松井 正之（電気通信大学）、伊呂原 隆（上智大学）、椿 広計（統計数理研究所））

*第3回横幹連合総合シンポジウム実行委員長・統計数理研究所

- テーマ G 「環境配慮型社会とリアルオプション」
(オーガナイザ: 川口 有一郎 (早稲田大学), 吉田 靖 (千葉商科大学), 高森 寛 (日本リアルオプション学会))

この他に, 人材養成に関して, テーマ A-2 「横幹人材養成」(日本品質管理学会と統計関連学会連合との共催セッション)(オーガナイザ: 鈴木 和幸 (電気通信大学), 渡辺 美智子 (東洋大学), 椿 広計 (統計数理研究所)), テーマ A-3 「統計教育の質保証の枠組み」(統計関連学会連合統計教育推進委員会, 日本統計学会教育委員会企画セッション)(オーガナイザ: 渡辺 美智子 (東洋大学)) というセッションもあった. このようなセッション構成にできたのは, 9月6日から8日に同所で開催された統計関連学会連合大会と共同開催であったからである. 9セッション合計で延べ約400人の参加があった. また, 横幹に参加している学会の会員と統計関連学会連合に参加している学会の会員の交流が持てたことも有意義であった. 末尾ながら, 実行委員, アドバイザリー委員及び会場を提供していただいた早稲田大学の関係者のご尽力に御礼申し上げます.

第3回横幹連合総合シンポジウム実行委員会 (敬称略) 委員長

田村 義保 (統計数理研究所)

委員 (OS オーガナイザ)

本多 敏 (慶應義塾大学)

渡辺 美智子 (東洋大学)

岡田 幸彦 (筑波大学)

内藤 耕 (産業技術総合研究所)

樋口 知之 (統計数理研究所)

出口 光一郎 (東北大学)

生駒 哲一 (九州工業大学)

木村 英紀 (理化学研究所)

中野 和司 (電気通信大学)

松井 正之 (電気通信大学)

伊呂原 隆 (上智大学)

川口 有一郎 (早稲田大学)

吉田 靖 (千葉商科大学)

高森 寛 (日本リアルオプション学会)

加藤 英明 (名古屋大学)

大垣 昌夫 (慶應義塾大学)

舘 暲 (慶應義塾大学, 日本工学アカデミー広報委員会)

大熊 和彦 (東京工業大学)

旭岡 勝義 (日本工学アカデミー政策委員会)

早山 徹 (日本工学アカデミー広報委員会)

アドバイザリー委員

原 辰次 (東京大学)

内田 健康 (早稲田大学)

根来 龍之 (早稲田大学)

椿 広計 (統計数理研究所)

梅千野 晁 (東京工業大学)

木野 泰伸 (筑波大学)

事務局

船橋 誠壽 (横幹連合)

池田 理香 (横幹連合)